

千エツワ!

この1年の取組を振り返ってみましょう

①授業

- 生活・学習しやすい環境づくりを心がけましたか。
- 学習規律等、学校や学級のルールが徹底できましたか。
- 子供が活躍できる場を意図的に設定するようにしましたか。



②関わり

- 「あれ?」と思う子供の姿を見過ごさないように意識しましたか。
- 子供の思いを丁寧に聞くように心がけましたか。
- 子供の熱意や頑張りをしっかり認めるようにしましたか。

③チーム対応

- 気になったことは、小さなことでも報告しましたか。
- 子供の様子等、気が付いたことや報告した内容をメモで残すようにしましたか。
- 不安なことや分からないことは、すぐに周りの教職員や管理職に相談しましたか。

今年度の「西部教育局からのお役立ち情報」やこれまでのバックナンバーも確認してみましょう。

4月号「学級びらき」 5月号「変化を見抜く」 6月号「コロナ禍での対応」

7月号「不登校への初期支援」 9月号「学級経営」 10月号「いじめ対応」 1月号「問題行動への対応」



ここがポイント!

新年度体制に向けた取組

◆子供の状況について、全教職員で情報を共有する。

- ・欠席、遅刻、保健室来室日数、う歯(虫歯)数や諸費用支払いの遅れ等
- ・いじめや問題行動等の事案について、指導記録や観察を通して把握した実態
- ・入学前の欠席状況や生活の様子等、新入生の状況

◆学校のルールやいじめ・不登校・問題行動等への対応方針を全教職員で確認する。

- ・全学年で共通した学習規律や学校生活(給食・集会・部活動等)のルール
- ・学校いじめ防止基本方針や不登校の子供への対応、問題行動発生時の対応マニュアル等
- ・校内での報告、連絡、相談の方法

切れ目のない支援を行うために、前学年からの引継ぎ事項等を、アセスメントシート等を活用して、全教職員で確認しましょう。

管理職や生徒指導担当者を中心に、全教職員で共通理解を図り、取組を確認することが大切です。紙面で終わりではなく、職員会議等で協議したり説明したりする場を設定しましょう。

